

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）			教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）			入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）		
武庫川女子大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程では、本学の定める修業年限以上在学し、所定の履修方法に従って10単位以上を修得し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく次の資質・能力を身につけたうえで、論文審査および試験に合格した者に対して、課程修了を認定し博士（文学）の学位を授与します。			武庫川女子大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程では、本専攻の定めるディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。 1. 教育課程 日本語学および日本文学の2つの分野からなる教育課程を編成します。コースワークとリサーチワークをバランスよく配置し、学生が高い研究能力を養成できるよう支援します。これにより、高度な専門性を持つ研究者や社会で指導的な役割を果たす職業人を育成します。学生は研究者として自立する実力を培うことができます。 2. 教育方法 発表と討論、グループワーク、フィールドワークなど、アクティブラーニングを取り入れた授業を展開し、学生の主体的で能動的な学修を促進します。これにより自他を尊重する姿勢や失敗を恐れず挑戦する姿勢、逆境や困難に対応するしなやかな姿勢を涵養します。 指導教員が担当する「特殊演習Ⅰ」「特殊演習Ⅱ」「特殊演習Ⅲ」（いずれも必修科目）において、研究課題の決定から博士論文の作成まで、体系的な指導をきめ細かに行います。博士論文の完成に至るまでに定期的に研究発表や論文執筆の機会を提供し、複数教員による指導体制を整え、多角的な視点からの助言を可能にします。 3. 教育評価 各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、あらかじめ評価指標を明示し、適切・公正な評価を実施します。レポート、発表、討論への参加度など、多面的な評価方法を採用します。 博士論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。口頭試問を含む最終試験により、研究成果の学術的意義と社会的影響を評価します。			武庫川女子大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本専攻のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本専攻のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有し、研究者として自立して研究活動を行う意向を持つ人の入学を受け入れます。		
武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目			MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目			武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素		
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	人間文化に関する該博な知識を体系的かつ包括的に身につけたうえで、多様な価値観や国際的観点に立脚してそれを活用することができる。	知識	社会を理解し、日本語日本文学に関する高度な研究能力を身につけるために必要な基礎学力を有している。		
	2	“生きること”につながる専門性	2	日本の言語・文学・文化に関する卓抜した専門的知識を修得しており、それを生涯にわたって活用し、自ら更新していく意志と能力を持っている。		自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している		
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	あらゆる個人を等しく重んじる姿勢を堅持して、他者と建設的な議論を行い、社会に貢献する実践的で先進的な研究を推進することができる。		姿勢	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。	
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	新たな挑戦に果敢に取り組む意欲と旺盛な知的探求心を持っており、試行錯誤を重ねて次なる段階に踏み出し、研究分野を開拓することができる。			博士後期課程において修得したきわめて高度な専門性を基盤として、日本語日本文学、国語科教育、日本語教育などに関わる研究職や専門的職業に就き、あるいは学識や創造性を活かせる活動に従事して、社会に貢献しようという意志を持っている。	
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	困難に遭っても、他者と支え合いながら広い視野に立って選択肢を探り、多様な解決策を提示する姿勢を身につけている。				
行動	6	論理的に考え伝える力	6	広範な情報収集とすぐれて客観的な分析を行うに足る、論理的・批判的な思考力を備えており、自説を構造化して説得的に表現することができる。		行動		
	7	新たな価値を創造する力	7	学修を通じて得た高度な専門的学識を活用して、柔軟な発想と独創的な視点から、研究の進展に寄与する諸価値を創造し、社会に貢献することができる。				
	8	多様な人々と協働する力	8	他者の価値観を互いに認め合い、専門職としての高い倫理観と責任感のもとに、異なる立場の人々と信頼関係を構築して協働する能力を身につけている。				